



## クラスタの設定

- [ビジュアルボイスメールの設定 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の統合の設定 \(2 ページ\)](#)

## ビジュアルボイスメールの設定

- ステップ 1** ビジュアルボイスメールを設定するには、[設定 (Configuration)] タブ > [Unified Communications] を選択します。  
[Unified Communications] ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** [ボイスメール (Voicemail)] を選択して [CUCI 用のビジュアルボイスメールのデフォルト設定 (Default settings for Visual Voicemail for CUCI)] を選択します。  
Unity Connection のお客様は、[ボイスメールサーバ (Voicemail Server)] フィールドまたは [メールストアサーバ (Mailstore Server)] フィールドに Unity Connection サーバの IP アドレスもしくは DNS 名を入力する必要があります。その他のすべての設定はデフォルトのままにしておくことを推奨します。
- ステップ 3** ビジュアルボイスメールを有効にするには、[ビジュアルボイスメールの有効化 (Enable Visual Voicemail)] を選択します。
- ステップ 4** ビジュアルボイスメールの設定を手動で入力する場合は、[ユーザによる手動設定の入力を許可 (Allow user to enter manual settings)] を選択します。
- ステップ 5** 次の情報を入力します。
- **ボイスメールサーバ** : Webex アプリケーションがボイスメールを取得する際に通信する必要があるビジュアルボイスメールサーバ名。
  - **[ボイスメールプロトコル (Voicemail Protocol)]** : ビジュアルボイスメールサーバとの通信に使用するプロトコル。[HTTP] または [HTTPS] を選択できます。
  - **[ボイスメールポート (Voicemail Port)]** : ビジュアルボイスメールサーバに関連付けられたポート。

次のメールストアパラメータのオプションはサポートされていません。Webex 管理ツールには値が必要です。メールストアサーバのフィールドには 10.0.0.0 を入力し、残りのフィールドにはデフォルトの値を使用します。

- [メールストアサーバ (Mailstore Server)] : メールストア サーバ名。
- [メールストアプロトコル (Mailstore Protocol)] : メールストア サーバが使用するプロトコル。 [TLS] または [プレーン (Plain)] を選択できます。
- [メールストアポート (Mailstore Port)] : メールストア サーバに関連付けられたポート。
- [IMAPアイドル期限時間 (IMAP IDLE Expire Time)] : サーバのボイスメールの確認が自動的に停止する期限までの時間 (分単位)。
- [メールストアの受信トレイ フォルダ名 (Mailstore Inbox Folder Name)] : メールストア サーバで設定されている受信トレイ フォルダの名前。
- [メールストアのごみ箱フォルダ名 (Mailstore Trash Folder Name)] : メールストア サーバで設定されているごみ箱フォルダ (通常は削除済み項目フォルダ) の名前。

ステップ 6 保存を選択します。

---

## Cisco Unified Communications Manager の統合の設定

---

ステップ 1 [設定 (Configuration)] タブ > [追加のサービス (Additional Services)] > [Unified Communications] を選択します。

ステップ 2 [クラスタ (Clusters)] タブを選択し、[追加 (Add)] を選択します。

ステップ 3 [Messenger サービス クライアントと Cisco UC Manager の統合の有効化 (Enable Cisco UC Manager integration with Messenger Service Client)] を選択します。

ステップ 4 [ユーザによる手動設定の入力を許可 (Allow user to enter manual settings)] を選択すると、ユーザは基本モードのプライマリ サーバの値か、または拡張モードの TFTP/CTI/CCMCIP サーバの値を変更できます。

(注) このオプションを有効にすると、ユーザが入力した設定で Webex 組織に対して指定したデフォルトまたはグローバルの Cisco Unified Communications Manager の設定が上書きされます。

ステップ 5 [Cisco Unified Communications Manager サーバの設定 (Cisco Unified Communications Manager Server Settings)] で、次のように選択します。

- [基本的なサーバ設定 (Basic Server Settings)] : Cisco Unified Communications Manager サーバの基本的な設定を入力します。
- [詳細なサーバ設定 (Advanced Server Settings)] : Cisco Unified Communications Manager サーバの詳細設定を入力します。

(注) サーバ設定のオプションは、基本か詳細かによって変わります。

ステップ 6 [基本的なサーバ設定 (Basic Server Settings)] に次の値を入力します。

- [プライマリサーバ (Primary Server)] : プライマリの Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスを入力します。このサーバは、TFTP、CTI、CCMCIP で設定されます。
- [バックアップサーバ (Backup Server)] : バックアップの Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスを入力します。このサーバは、TFTP、CTI、CCMCIP で設定され、プライマリの Unified Communications Manager サーバに障害が発生した場合のフェールオーバー サポートを提供します。

**ステップ 7** [詳細なサーバ設定 (AdvancedServer Settings)] を選択した場合は、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) サーバ、CTI (コンピュータ テレフォニー インテグレーション) サーバ、CCMCIP (Cisco Unified Communications Manager IP フォン) サーバの各設定を指定します。

**ステップ 8** 次のサーバのそれぞれに、IP アドレスを入力します。

(注) TFTP サーバには最大 2 つのバックアップ サーバを、CTI サーバと CCMCIP サーバにはそれぞれ 1 つのバックアップ サーバを指定できます。各バックアップ サーバに適切な IP アドレスを入力します。

- [TFTP Server]
- [CTI Server]
- **CCMCIP サーバ (CCMCIP Server)** : これは、Cisco Unified Communications Manager (UDS) サーバのアドレスです。

リストされたサーバはユーザのホーム クラスタ内に存在する必要があります。

**ステップ 9** [ボイスメールのパイロット番号 (Voicemail Pilot Number)] ボックスに、Cisco Unified Communications サーバのボイス メッセージ サービスの番号を入力します。

通常は、組織の管理者が Webex の組織全体のデフォルトのボイス メッセージ番号を入力します。ただし、[ユーザによる手動設定の入力を許可 (Allow user to enter manual settings)] チェックボックスを選択すると、クラスタのユーザがこのデフォルトのボイス メッセージ番号を上書きできるようにすることができます。

**ステップ 10** [ボイスメール (Voicemail)] を選択します。

**ステップ 11** [ビジュアル ボイスメールの有効化 (Enable Visual Voicemail)] を選択します。

ここで入力したビジュアル ボイスメールの設定は、このクラスタに属しているユーザのみに適用されません。

**ステップ 12** [クラスタ (Clusters)] タブで、[このクラスタに固有のボイスメール サーバ (Specific voicemail server for this cluster)] を選択してボイスメール サーバを指定します。このサーバは、組織全体に提供されるボイスメール サーバの設定とは異なります。

**ステップ 13** [ユーザによる手動設定の入力を許可 (Allow user to enter manual settings)] を選択して、ユーザがこのクラスタのビジュアル ボイスメール設定を手動で入力できるようにします。

**ステップ 14** 次の情報を入力します。

[ボイスメール サーバ (Voicemail Server)]	ボイスメールサーバの IP アドレスまたは FQDN を入力します。
---------------------------------	------------------------------------

[ボイスメール プロトコル (Voicemail Protocol) ]	[HTTP] または [HTTPS] を選択します。
[ボイスメール ポート (Voicemail Port) ]	ポート番号を入力します。

メールストア サーバ情報はサポートされていませんが、Webex 管理ツールでは、このフィールドに値があることが想定されているため、10.0.0.0 と入力します。メールストアの [プロトコル (Protocol) ] フィールド、[ポート (Port) ] フィールド、[IMAP のアイドル期限時間 (IMAP IDLE Expire Time) ] フィールドはサポートされていません。これらのフィールドからデフォルト値を削除しないでください。

[メールストア受信トレイ フォルダ名 (Mailstore Inbox Folder Name) ]	メールストアサーバで設定された受信トレイフォルダの名前。
[メールストアのごみ箱フォルダ名 (Mailstore Trash Folder Name) ]	メールストアサーバで設定されたごみ箱フォルダまたは削除済み項目フォルダの名前。

ステップ 15 [Save] を選択します。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。